

## 小笠原諸島におけるアホウドリ2つがいの繁殖成功について

<本件は、東京都（公財）山階鳥類研究所と同時発表です>

アホウドリ保護増殖事業の一環として東京都と山階鳥類研究所がおこなっている、小笠原諸島<sup>むこしま</sup>賀島における新繁殖地形成事業において、本年5月に小笠原諸島全体でアホウドリ合計2つがいの繁殖の成功が確認されたのでお知らせします。

- (1) 賀島では2008年に人工飼育によって賀島を巣立った雄個体1羽と、野生の雌個体の番い<sup>むこしま</sup>の間で産卵・孵化に成功し、本年1月9日に雛が確認されていましたが、この雛の巣立ちが、5月14日に確認されました。賀島で飼育個体から生まれた雛が巣立ったのは初めてです。
- (2) 嫁島では、5月9日にアホウドリのヒナ1羽が確認されました。親鳥は観察されておらず不明ですが、山階鳥研が同事業で人工飼育し巣立たせた個体や、同事業で誘引された個体の可能性があるかと推察されます。嫁島ではこれまでアホウドリの成鳥の飛来が確認されていましたが、雛は初確認です。

今回の確認で、戦後はアホウドリの繁殖がなかった小笠原諸島での、同事業開始後のアホウドリの繁殖成功は3例となりました。

### 1. 賀島での繁殖

#### 1-1. 雛を巣立たせたつがい

2008(平成20)年に巣立った個体(カラーリング番号Y01、7歳、雄)と野生個体(足環なし、雌)

#### 1-2. 確認場所

賀島の北西部で雛を飼育し巣立ちをしたところ。Y01はこの場所で、2012年から3シーズン連続して足環なし個体との間で産卵が確認されていましたが、いずれも孵化には至りませんでした。

#### 1-3. 確認の状況

山階鳥類研究所が5月13日午前11時30分に現地を観察した際には繁殖場所に雛が観察されましたが、翌5月14日朝に現地を訪れたところ、繁殖場所に雛が見当たらず、午前8時20分に、繁殖地の下の、岸から数十メートル下の海上に漂っているのを発見しました。

#### 1-4. 備考

この個体には3月4日に環境省鳥類標識調査の金属足環(番号KANKYOSHO TOKYO JAPAN 13D-06691)ならびにプラスチック製の色足環(赤地に白くY75と刻印)を装着しています。

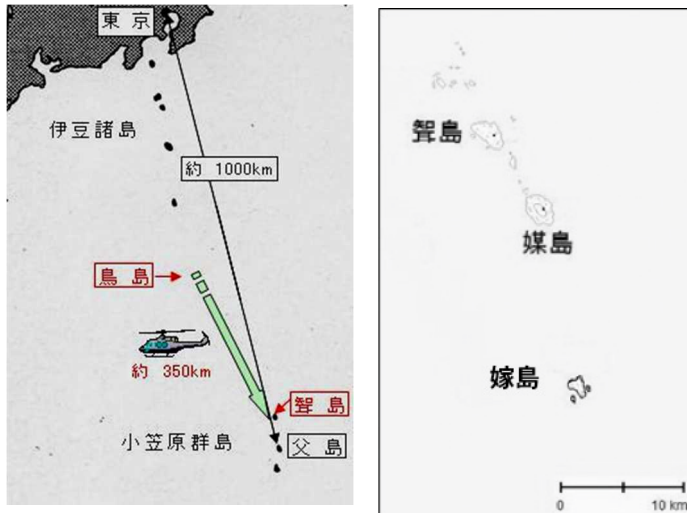
### 2. 嫁島での繁殖

#### 2-1. 雛を巣立たせたつがい

親鳥は観察されておらず不明ですが、山階鳥研が同事業で人工飼育し巣立たせた個体の1羽である可能性が高いと推察されます。

## 2-2. 確認の状況

5月9日にアホウドリ類の標識調査のため嫁島に上陸した東京都小笠原支庁および特定非営利活動法人小笠原自然文化研究所により確認されました。



### 【聳島の雛】



< 巣立ち前の雛の様子。5月13日聳島 >



< 巣立ち後、海上にいる雛。5月14日 鴛島 >

撮影：山階鳥類研究所 これらの画像の利用を希望される方は下記にご連絡ください。

**【嫁島の雛】**



< 嫁島で初めて確認された雛。5月9日 鴛島 >

提供：東京都

3. その他

その他詳細につきましては、東京都環境局及び山階鳥類研究所にご連絡下さい。

この件についての連絡先

東京都環境局自然環境部緑環境課 根本、松本

内線 42-680 直通 03(5388)3538

(公財)山階鳥類研究所 保全研究室 尾崎清明

電話：04-7182-1107、Fax:04-7182-4342

事務局広報担当 平岡考

平成28年5月20日(金)

関東地方環境事務所

所長 : 上杉 哲郎

野生生物課長 : 澤 邦之

同 課長補佐 : 黒澤 純

直 通 : 048-600-0817